

予備スピネーカーについて

class rule **J.2** スペア・スピネーカー

クラス規則 C.10.2 は、RRS87に基づき、特定の大会のレース中、艇に予備のクラス・スピネーカーを搭載することを認めるよう変更することができる：

(a) スペア・スピネーカーは、計測時に登録されなければならないが、大会計測員によって大会限定マークを付けることができる。

(b) スペア・スピネーカーは、プライマリスピネーカーが帆走中にセールテープで効果的に補修できないほど損傷した場合のみ使用できる。承認された損傷とは、長さ1メートルを超える裂け目、またはパネル1枚を超える裂け目を含む。

(c) スペア・スピネーカーを使用した場合、艇は抗議期締切時刻内にその旨をレース委員会に書面にて申告しなければならない。

(d) 損傷したプライマリスピネーカーをレース委員会に提出し、確認を受けなければならない。

破損が J.2(b) の条件を満たさない場合、レース委員会は、J.2(b) の計算による 20% の得点ペナルティを課す。レース委員会は、RRS 44.3(c) によって計算される 20% の得点ペナルティを、スペア・スピネーカーが使用されたレースに課す。

(e) プライマリスピネーカーが一晚で修理できた場合、そのスピネーカーを残りのレガッタのプライマリスピネーカーとして使用する。プライマリスピネーカーを修理して使用することができない場合 スペア・スピネーカーを残りのレガッタで使用する。艇はスペア・スピネーカーなしで残りのレガッタを帆走しなければならない。  
と修正する：

class rule **H.2** スペア・スピネーカー

クラス規則 C.10.2 は RRS87 により変更することができる。

---

本大会は、クラスルール H.2 に基づいて、J.2 を採用し「スペア・スピネーカー」を搭載することを認める。

\*class rule J.2(c) のスペア・スピネーカーを使用した場合の「書面での申告書」は、[大会.org](https://www.class.org) の「装備品交換」から行える。

2023年 10月 31日

日本J24クラス協会会長 